

## 自己評価報告書

平成 23 年 3 月 16 日現在

機関番号：34428

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530126

研究課題名(和文) 平和の政治理論の構築に向けた基礎理論研究

研究課題名(英文) A Study of Basic Theories for Building A Political Theory of Peace

研究代表者

太田 義器 (OTA YOSHIKI)

摂南大学・外国語学部・教授

研究者番号：10277858

研究分野：政治学

科研費の分科・細目：政治学・政治学

キーワード：政治学・政治理論・安全保障理論・平和研究・規範理論

## 1. 研究計画の概要

本研究は、武力の整備および運用をめぐる政策決定に適用可能な規範の正当化の原則を明らかにすることを最終的な目的とし、関連する研究分野のうち、とくに安全保障研究と平和研究を考察対象としてその研究成果を規範的政治理論のなかで接合し、もってこれら3分野における平和と武力の相互関係についての理解を批判的に吟味するための基礎を据えることを本申請課題の到達目標としている。

## 2. 研究の進捗状況

積極的な資料収集とその吟味の結果、研究計画作成段階の想定に反して、対象とする研究領域それぞれの最先端研究においては研究成果の相互摂取が思いのほか進捗していることを把握することができた。しかも、それぞれの研究の最先端においてはおよそ共通する特徴として、「リベラルな平和」の構想に対する批判的な吟味があるとの見通しも得ることができた。加えて、このような研究動向についてだけ言えば、規範的政治理論においてはJ.グレイの *modus vivendi* 論が同じ方向性を示しながら、研究分野内においてはまだ十分に浸透していない点で、他の分野よりも検討の進展が遅れているとも言える一方、他の2分野においては依然として正戦論に対する期待が高いことも明らかになった。このために安全保障研究と平和研究の研究成果を規範的政治理論に持ち込むという所期の目的そのものだけでは、独創的な研究成果をもたらすという期待に充分に応えられないことが明らかになった。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

本申請課題は、武力の整備および運用を巡る政策決定に関する議論に対して、そうした政策の規範的正当化がどのようにしてなされるのかを検討するための理論的原則を提示するという本研究の最終目的を達成するために、安全保障研究と平和研究の研究成果を規範的政治理論の言語において総合することをねらうものであり、この点で、とりわけ安全保障研究においては、すでにこの方向での取り組みが相当程度に進んでいること、また平和研究においても比較的進んでいるとの知見を得られており、しかも方向性として「リベラルな平和」批判という一致点が存在するとの見通しも得ているなど、目標の達成に向かって着実に研究が進捗している。

## 4. 今後の研究の推進方策

計画の当初段階では、規範的政治理論の術語と視座を安全保障研究および平和研究に適用することで相当程度に独創的な学術的貢献ができるとの見通しをもっていたが、これまでの研究によってこうした方向での各研究分野間での相互参照は思いのほか進んでいることが明らかになったので、当初の研究計画に若干の修正を加え、安全保障研究および平和研究の最新の研究成果を用いて、規範的政治理論を批判的に吟味することに重心をおくことで、3分野の研究成果を総合するという本研究課題の到達目標を着実に実現したい。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕（計 1 件）

- ① 太田義器、正戦論の理論的根拠と歴史的展開、ぶらくしす、第 12 巻、69-82 頁、2011 年、査読無し

〔学会発表〕（計 4 件）

- ① 太田義器、政治理論における戦争と平和、第 8 回広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター例会、2010 年 2 月 27 日、広島大学
- ② 太田義器、正戦論の政治思想的・政治哲学的地位についての予備考察、第 9 回広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター例会、2010 年 9 月 26 日、広島大学
- ③ 太田義器、正戦論と戦争の違法化、社会思想史学会第 35 回大会、2010 年 10 月 23 日、神奈川大学
- ④ 太田義器、これからは正義の勝利する話は止めよう—J. グレイの Modus Vivendi 論をめぐる—考察、第 17 回政治哲学研究会、2011 年 3 月 6 日、早稲田大学

〔その他〕（計 1 件）

- ① 太田義器「解説 これからは正義の勝利する話を止めよう」(J. グレイ著『ユートピア政治の終焉——グローバル・デモクラシーという神話』岩波書店、2011 年 3 月刊行予定、所収)